

平成28年2月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H28年2月 数 量 (トン)	H28年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県(三浦)産・千葉県(銚子)産中心の販売でした。低温、降雪の影響により、入荷は少な目でしたが、相場は軟調な展開でした。	767	80	87%	85%
2		はくさい	茨城県産・群馬県産中心の販売でした。2月中旬頃より兵庫県産も始まりました。	488	73	80%	132%
3		きゅうり	宮崎県産・群馬県産を中心に、茨城県産・千葉県産・埼玉県産等を販売しました。恵方巻等のイベントもあり、堅調な販売展開でした。	282	465	100%	111%
4		ほうれん草	群馬県産・茨城県産・神奈川県産中心の販売でした。低温の影響により、出荷量は少なかったです。	94	521	84%	108%
5		馬 鈴 薯	鹿児島県産は2月にあった降雪の為、大幅な入荷減となり単価が高騰しました。北海道産も鹿児島県産の影響が波及し単価が高騰しました。	316	188	85%	152%
6	果 実	伊 予 柑	全国的に雪害等があり、正品率が低下しました。トータル数量は前年並か、90%程でした。前倒しで出荷されました。	152	229	105%	120%
7		ふ じ	青森県産を中心に販売しました。傷果が多かった為、正品が高騰しました。	476	302	101%	108%
8		い ち ご	福岡県産・栃木県産中心の販売でした。低温の影響により、入荷量は少なかったです。	114	1,517	78%	101%